

# 病害虫発生予察指導情報

(ナシ・ニセナシサビダニ No. 4)

令和3年6月16日  
鳥取県病害虫防除所

## 1. 情報の内容

6月中旬現在、ニセナシサビダニの発生量は平年並となっている。

## 2. 情報の根拠

- (1) 6月中旬現在、県予察ほ場におけるニセナシサビダニの葉当たり個体数は573.8頭（平年：632.3頭）で、平年並となっている（表1）。
- (2) 向こう1か月の気象予報から、発生盛期は平年並の6月下旬頃と見込まれる。

表1 ニセナシサビダニの発生消長（園芸試験場）\*

月・旬	本年**	平年***
5・上	7.4	4.5
5・中	2.8	8.4
5・下	125.0	88.5
6・上	421.2	346.7
6・中	573.8	632.3
6・下		961.8

\*：殺ダニ剤無散布ほ場、1葉あたり寄生個体数（3樹10葉調査）

\*\*：R3年度より調査樹を変更

\*\*\*：平年値は過去3年（H30年～R2年）の調査結果から算出

## 3. 防除上注意すべき事項

- (1) 密度増殖が著しい種（ハダニ類、サビダニ類など）は、発生初期の防除（初期密度の低い時点での防除）が重要である。また、ニセナシサビダニ被害の多少は新梢停止期の早晚の影響が大きい。
- (2) 新梢の停止時期が遅く、ニセナシサビダニの被害が増加するような場合は、追加防除を行う。

(参考)

防除区（5月19日、6月9日にハチハチフロアブル2，000倍液を散布）におけるニセナシサビダニの発生消長

表2 ニセナシサビダニの発生消長（園芸試験場）\*

月・旬	防除区	無散布区
5・中	1.2	2.8
5・下	0.2	125.0
6・上	0	421.2
6・中	0	573.8
6・下		

\*：1葉あたり寄生個体数（3樹10葉調査）

要約：6月中旬現在、防除区のニセナシサビダニの発生量は少ない。